

万博国際交流プログラム交流計画の第四次登録の公表について

令和6年6月28日
内閣官房
国際博覧会推進本部事務局

内閣官房では、大阪・関西万博を契機に、全国各地域において、地域住民と万博参加国・地域の関係者が、地方公共団体の事業を通じて継続的に国際交流していくための枠組み「万博国際交流プログラム」を令和6年度から令和7年度にわたり実施し、参加国・地域との相互理解や国際交流を通じた地域の課題解決・活性化などの取組みを支援します。

今般、本年5月末までに自治体から申請のあった交流計画10件を登録しましたので公表します(詳細は別紙参照)。

(概要)

- 第四次登録は、令和6年5月31日までの申請が対象。
- 第四次においては、10件(12自治体(2府県10市町))の交流計画を登録した。
- 第四次申請までに登録された交流計画は84件(54自治体(8府県46市町村))
※ 複数の自治体による共同申請あり。

(参考)

大阪・関西万博を契機とした交流人口の拡大を図る「万博交流イニシアチブ」を、令和4年12月の「2025年大阪・関西万博アクションプラン Ver.3」において公表。

そのひとつの柱として、全国各地域における万博参加国との継続的な交流を促進すべく「万博国際交流プログラム」を実施(令和6年度)。

令和4・5年度は、モデル事業を通じて29自治体(8府県21市町村)の取組を支援。

[万博国際交流プログラムについて | 内閣官房ホームページ \(cas.go.jp\)](https://cas.go.jp)

【連絡先】

内閣官房 国際博覧会推進本部事務局 伊藤、水口
TEL : 03-3519-3615

(別紙)第四次登録の概要

都道府県	登録自治体名	相手国・地域	主な取組み
群馬県	富岡市	ミクロネシア	市関係者がミクロネシアを訪問して、子ども達による絵画交流や市内で生産された繭糸による「富岡シルク」を通じた交流について協議・調整。
滋賀県	滋賀県	ブラジル	姉妹友好提携45周年に伴うリオ・グランデ・ド・スール州代表団等の来訪に合わせ、県内住民との交流を実施。
京都府	京都府	チリ	双方の大学の交流を通じた、チリの文化や医療の状況等を紹介する公開セミナーやオープンキャンパス等を実施。
大阪府	大阪市	パプアニューギニア	交流相手国の関係者が学校訪問等を行い、互いの国の文化やSDGsに関する理解を深める。
		ペルー	商店会が実施する交流イベントを通じ、在日のペルーの方々との市民の文化交流を実施。
	河内長野市	ブルキナファソ	2025年冬に市内で予定している万博プレイベントにて、「地球オルガンプロジェクト」を通じた交流イベントを開催。
	高石市	マダガスカル	交流相手国の関係者による学校訪問、在日のマダガスカルの方々を市内小中学校に招いてのサッカー交流などを実施。
	富田林市・羽曳野市・藤井寺市・大阪狭山市	エジプト	富田林市、羽曳野市、藤井寺市及び大阪狭山市の4市が連携し、交流相手国の関係者による子どもたちとの交流、在日のエジプトの方々を招いての歴史・文化資産を通じた交流を実施。
	東大阪市	ボツワナ	大阪アフリカビジネスフォーラムでは、企業に向けアフリカでの事業展開に関する情報を発信。AFRICA EXPOでは、音楽ステージやフードマルシェなど文化にふれるブース出展を通じて、アフリカ関係者と市民の交流。
徳島県	松茂町	ガーナ	万博テーマ事業プロデューサーの中島さち子氏と連携し、STEAM教育の推進及びごみアートを通じた環境教育や文化交流のイベントを開催。

(注1) 本事業における交流計画は調整中の内容であり、今後変更がありうるものです。

(注2) 本事業における交流計画の詳細については、各地方公共団体へお問合せください。